

黙食だからこそできる学び「郷土愛を育てる給食時の学び」

日時:7月13日(水)、20日(水) 12時30分~12時40分
場所:岩間第三小学校 放送室から各教室へ発信

1 目的

市生涯学習課の職員で、古墳やお城などに精通する野内智一郎さんが講師となり、笠間城と御前塚古墳(岩間地区泉)について、放送による学習をそれぞれ3回、計6回に分けて行うことで郷土を愛する心を育む。

2 該当学年 全学年

3 学習の概略

(1) 笠間城についての放送【実施済】

- ① 日時 6月15日(水)、22日(水)、29日(水) 給食時
- ② 内容 中世のお城の姿をイメージし、身近な笠間城について放送

(2) 古墳についての放送

- ① 日時 7月6日(水)【実施済】、13日(水)、20日(水) 給食時
- ② 内容 古墳構築の目的や古墳の構造を説明した上で、身近な古墳である御前塚古墳について説明

* 当日撮影事項 *

インタビュー可

○概要

コロナ禍での給食では、黙って食べるようになって久しい。子どもたちが黙食している時間を活用して、笠間市の郷土についての放送をシリーズで行うことにより、体系的に笠間の歴史をラジオ感覚で学び、郷土を愛する人材を育てようと考えた。マスクを外して友達との会話ができない時間だからこそ、学びを耳から入れ、想像力を駆使しながら深い学びに児童を誘おうと逆転の発想で考えた取り組みである。地元の職員を活用して地元の学習をする、「地域とともにある学校」を具現化したい。

その他給食時に取り入れた放送:「鯉のぼりの由来とそれにまつわるエピソード(校長、教頭)」、「七夕の由来とそれにまつわるエピソード(学級担任2名)」、「地域ボランティアによる本の読み聞かせ」など

○講師

- ・笠間市教育委員会生涯学習課文化振興室 野内智一郎(やないともいちろう)
- ・講師より

「私はこの4月の人事異動で笠間市に赴任し、4月、5月と古墳の発掘調査をしてきました。市役所での勤務は初めてなので、慣れないながらも同僚に支えられながら仕事をしています。そんな折、コロナ禍で黙食しなければならない給食の時間に何か児童に話をしてほしいかと岩間三小から依頼がありました。私は自分の仕事や歴史の面白さを伝えたいと思っていた矢先であったこともあり快諾しました。放送で話をしていく中で、なかなか授業では踏み込めない身近な歴史に理解を深めたり興味をもってくれたりするきっかけができたのではないかと考えます。特に工夫した点は、話を聞いてもらう児童との距離を縮めるために、自分が今している発掘のエピソードや自分のキャラクターをかみくだいて話したことです。出土したものや、出土したものから何がわかるのかなどを児童の視点に立って話しました。

・6年生児童の感想

「笠間に49もの古墳があると知って驚いた。また2回目を楽しみます。」

「とても面白かった。授業では習わなかった、埴輪の円周や古墳の形、種類などが学べた。家に帰ったら弟と一緒に放送で聞いたことを確かめたい。教えたい。」



この件に関するお問い合わせ

笠間市立岩間第三小学校 担当:教頭 中山 光一

電話番号:0299-45-6168 ファックス番号:0299-45-8087 e-mail:iwama3e@ed.kasama.ibaraki.jp